

東通村と都市部との交流事業 ～東京都北区立浮間中学校職場体験～

7月6日(水)～8日(金)の3日間にわたり、東京都北区立浮間中学校(松本洋人校長)2年生の生徒8名(男子3名,女子5名)が、東通村で第一次産業に携わる職場体験学習を行いました。

この職場体験学習は、東通★東風塾(山崎孝悦塾長)が主体となり、平成16年度から行っている「東通村と都市部との交流事業」が発端となり、発展したかたちとして行われているもので、今年度で3回目となります。

普段都会で暮らす生徒たちにとって、食物を育てたり、とったりする体験はほとんどありません。そういった生徒たちに、人々の生活を支える為に日々働く第一次産業の仕事を体験させることで、今後の生き方や考え方を豊かなものにしていきたいという浮間中学校のねらいがあります。

また、東通村にとっても、東通村の豊かさを他地域に積極的にアピールするよい機会ともなります。東通村で体験することや、感じる豊かな自然の素晴らしさを、東京に帰りたくさんの人に伝えてもらえたらと考えています。

今年度の職場体験学習は、山崎農園、村田農園、奥島農園、あべらベリー苑、野牛漁業協同組合、尻屋漁業協同組合、東通村産業振興公社の7カ所で行われました。生徒たちは2日間にわたり、それぞれ農業、漁業、畜産で汗を流し、貴重な体験をしました。

また、職場での体験を終えると、村内各地のホストファミリー宅にホームステイをしました。新しい出会いの中で、心遣いと愛情をたくさん受け、日を追うごとに緊張感から解放される生徒たちの笑顔が印象的でした。

3日目の朝、東通村交流センターでの体験発表会では、「働くことの大切さが分かった」「海に関する仕事をしたい」など、今回の体験を通して学んだことや、将来について考えたことを発表していました。

その後、尻屋漁港から漁船に乗り込みジオパーク体験をし、尻屋埼灯台を見学しました。尻屋埼灯台では、北区浮間小学校との交流10周年を記念して送られた寒立馬「ゆめ」ちゃんにも会うことができました。生徒たちが「ゆめちゃん」と呼ぶごとに、耳をびくびく動かす姿に生徒たちも歓声を上げていました。

最後に、山崎塾長から修了証書を受け取り、職場体験学習は終了。生徒たちは多くの人や出来事との出会いを通して、一回りも二回りもたくましさを増した姿で帰路に就きました。

浮間中学校のみなさん、東通村を第二の「ふるさと」として、また帰ってきてくださいね!



村田農園にて苺の選定



あべらベリー苑にて農場の網掛け



尻屋漁港にて昆布の袋詰め



産業振興公社にて畜産の勉強



尻屋崎にてジオパーク講義



山崎塾長より終了証授与